

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・新幹線開業キャンペーンを含めて、いろいろなソフト事業を仕掛けていくので、地域外からの客数増加が期待される。
		百貨店（営業担当）	・必要なもの以外の購買には慎重な姿勢が続くと思われるが、宝飾、時計などの高額品に若干動きが出てきており、景気回復の兆しがみられる。
		百貨店（販促担当）	・客の購買動向をみると、価格に対する意識が薄れ、本当に欲しい商品を買う傾向が顕著になってきている。百貨店としては、このようなプラスの流れが続くことが期待される。
		スーパー（経営者）	・梅雨明け後の好調な動きが10日近く続いており、このまま推移していくことが期待される。
		コンビニ（経営者）	・朝は1点買いの客が依然として多いが、客単価は上昇しており、客単価、買上点数の動きから、景気を持ち直しが期待される。
		衣料品専門店（店長）	・礼服など比較的高額な商品に客が戻ってきており、来客数の動きをみても、個人消費が少しずつ上向いていることから、季節要因などが例年どおりで、新作を用意するなど仕掛けをしっかりすれば、落ち込むことはないと予想される。
		家電量販店（店長）	・エコポイントの年末終了を前に、かなりの駆け込み需要が期待される。
		その他専門店〔靴〕（経営者）	・冷夏の予想に反して暑い日が続いているため、業況が好転する業種が増えると予想される。
		その他飲食〔弁当〕（スタッフ）	・12月の新幹線の延伸開業に向けて、地元の盛り上がりも徐々に高まってきており、関連イベントの開催による集客が期待される。
		観光型ホテル（経営者）	・9月以降の入込は、一般企業の団体客の予約が例年に比べて目立ってきており、期待が持てる。個人客は、年配者と同伴者の家族連れ、昼食付き日帰り客が依然多い状況が続く。
		観光型ホテル（スタッフ）	・問い合わせが増加しており、客の動きが良くなれば、景気は上向いてくる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新幹線の延伸開業による経済効果や、高速道路無料化による観光客の増加が期待される。
		旅行代理店（店長）	・団体旅行の先行受注は前年を上回り、新規の相談件数も増えている。一方、店頭での個人旅行販売については、国内旅行を中心に受注が弱まっているが、9月の大型連休による分散化を含めると今後の動向が期待される。
住宅販売会社（経営者）	・住宅に関しては、絶対数が低迷しているものの、若年層の新築受注が動き始めている。加えて、木造戸建賃貸住宅や診療施設の受注見通しが年内の受注残を支えており、回復が期待される。		
その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・天候の安定による需要喚起が期待される。		
変わらない	変わらない	商店街（代表者）	・今月が景気の底と考えられ、これ以上落ち込むことはないと思われるが、現在の採算ラインを割った状態は今後も続く。
		商店街（代表者）	・地域住民の懐が温まる要因は見当たらず、しばらくこの状態が続く。
		商店街（代表者）	・小売商業者、特に中小零細店には、景気が上向いているという実感はなく、回復する要因は見当たらない。
		商店街（代表者）	・夏祭りや秋祭りに多少の盛り上がりは期待できるが、消費者の節約志向から大きな変化は望めず、厳しい状況は続く。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・この先いろいろな企画を予定しており、それが消費に結び付くことが期待される。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・政情不安のなかで、地域格差は依然として広がる傾向にあり、効果的な景気対策等が講じられなければ、厳しい状況は続く。
		一般小売店〔スポーツ用品〕（経営者）	・景気回復の動きが東北に波及するには相当な時間を要する。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・近隣の地元スーパーが民事再生法の適用を申請したことから、景気が上向く兆しはみられない。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・売上は伸びているが、消費者の買い渋りや買い控えの傾向に変化はなく、現在の状況は続く。

百貨店（売場主任）	・ 婦人衣料は秋物が早々と立ち上がっているが、暑いせいか動きは今一つである。この先も例年より気温の高い日が続くことが予想されるが、秋物の動きに影響が出ることが懸念される。
百貨店（企画担当）	・ マスコミから報道される景況感と消費者が生活のなかで実感する景気の間はずれがみられる。夏のボーナスは、数字の上では確かに伸びているものの、現実の生活に与える伸びしろは増えていない。したがって、年内の景気回復は期待できない。
百貨店（広報担当）	・ 子ども手当は貯蓄に回る可能性が高く、大きな効果は期待できない。
百貨店（経営者）	・ 雇用環境が回復していないため、当面、消費動向は変わらず、客単価の低下とともに消費者のシビアな買い方は継続する。
百貨店（経営者）	・ 政局や株価等が不安定な状況が続いており、消費者心理として購買意欲は低迷したままで推移する。
百貨店（経営者）	・ プレミアム付き商品券が今年は発行されてないため、現在のような厳しい状況は続く。
スーパー（店長）	・ 季節的な要因外での売上は厳しい状態が続いている。オーパーストアが続く中、更なる新店出店情報もあり、過激な価格競争はしばらく続くことが予想される。
スーパー（店長）	・ 高単価商品の動きが依然鈍く、低単価で買い置きのできるチラシ商品の支持が高い状況が続いており、今後もこの傾向は続く。
スーパー（店長）	・ 今後、気温、気候が平年並みで安定すれば、景気がやや良くなっている夏商戦の流れが秋冬商戦にもつながっていくと期待される。
スーパー（店長）	・ 好天により夏物商材が好調で、売上は一時的に回復しているものの、本格的な景気回復はまだ先である。
スーパー（総務担当）	・ 猛暑が続く影響で、夏物・飲料系商材の販売増で売上にもある程度良い効果は出ると予想される。ただし、国内では株式相場が依然1万円を割り、為替相場も円高基調が続き改善が進んでいない。また、東北の有効求人倍率は0.5を下回り、完全失業率も5.3%と悪化し、エコカー購入補助金は9月末で終了する。さらに、ねじれ国会により予算執行や各種法案成立は順調に進まない。このようななかでは、消費に良い影響は期待できない。
スーパー（営業担当）	・ 国会のねじれ現象等により今後の経済に明るさはみえず、先行きは不透明である。消費者の生活防衛意識も変化はみられず、食品を扱う小売業で客単価の伸びは今後も期待できない。
コンビニ（経営者）	・ 地元の雇用環境は相変わらず厳しい状況が続く。また、将来の不安から、高齢者の財布のひもが固い傾向は続く。
コンビニ（エリア担当）	・ 天候要因に左右されるが、それ以外に改善が見込める材料がなく、好調が持続するか予断を許さない。
コンビニ（エリア担当）	・ 10月からのたばこ値上げによる特需が9月に見込めるものの、景気の底上げにはつながらず、客単価の増加に伴う本格的な回復が実感されないなかで、当面は現状のままで推移する。
コンビニ（エリア担当）	・ 前年からの景気悪化に歯止めがかかっているものの、県内経済は依然として停滞傾向にあり、業績回復は予断を許さない。
コンビニ（店長）	・ 1年や半年前の水準と比較すると底は脱しており、明るい材料といえる。ただし、単価の水準が依然として前年を下回っているのに加え、建設業の不況が深刻でこれらの客足が減っていることから、建設業の景気回復に目処が立つまでは厳しい状況が続く。
衣料品専門店（経営者）	・ 中央街区の衰退により、小売業は厳しい状況が続いており、今後、閉店、倒産等が懸念される。
衣料品専門店（経営者）	・ 例年10月ごろから秋冬商戦が始まるが、年々売上は落ちており、今年も厳しい状況が予想される。
衣料品専門店（店長）	・ 例年、8、9月は紳士服が閑散期となるが、現在のような不景気が続けば、ビジネスマンの来店が更に減少することが予想される。
衣料品専門店（総務担当）	・ 来客数、買上点数、客単価共に厳しい状況にあり、景気回復に期待が持てず、先行き不透明である。
家電量販店（店長）	・ 季節商材以外の部門については、売上が前年比を割り込んでおり、販売台数は増えているものの単価が下がっているため、厳しい状況は続く。

	家電量販店（店長）	・政治不安とねじれ国会の影響もあり、先行き不透明な状況は続く。
	乗用車販売店（経営者）	・直近1か月はエコカー購入補助金による駆け込み需要が期待できるものの、9月以降は楽観視できない。
	住関連専門店（経営者）	・地方の景気は相当落ち込んでおり、当面、この状況は続く。
	住関連専門店（経営者）	・地方の給与水準は改善されておらず、ボーナスも悪かったため、消費に金が回るにはまだまだ時間がかかることが予想される。
	その他専門店〔パソコン〕（経営者）	・客の購買行動をみていると、必要最小限の物しか購入しない傾向が強まっており、仕事の受注も小分けになってきている。このような現状から、当面、地方の市場が活発になる兆しはみえない。
	その他専門店〔食品〕（経営者）	・消費を促進、助長する出来事がないなかで酷暑が続いており、食品販売において景気回復の要因は見当たらない。
	その他専門店〔酒〕（営業担当）	・日本酒などが動く時期に向けて、落ち込む要因が少ないので工夫次第では販売量の増加が期待される。ただし、景況の悪化によっては更なる落ち込みが懸念される。
	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・秋冬物に期待しているものの、売上増加につながるか判断を許さない。また、メーカーから値上げの話も出ていることから、厳しい状況は続く。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・原油の輸入価格が安定してきており、夏場の需要期に向けて乱売が避けられれば、また、今冬の需要期に向けて暖房用燃料の価格形成がうまくいけば、しばらくの間は安定した状況が続く。ただし、不採算店舗の淘汰に一層拍車がかかる見込みで、需要の先細り感と相まって石油業界における事態の好転には時間を要する。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・週末価格が落ち込み、安定していない現在の状況は続く。
	高級レストラン（支配人）	・市内に同業他社の新規オープンが相次ぎ、ホテル戦争に突入した影響を受け、しばらくは来客数が低迷する。
	一般レストラン（経営者）	・客の生活様式は儉約志向が定着しており、レストラン部門は厳しい状況がしばらく続く。
	一般レストラン（経営者）	・同業者や仕入れ先の話聞いても、今後良くなる要素は聞かれない。
	一般レストラン（経営者）	・売上が毎月落ち込んでおり、この先良くなる見通しがない。
	一般レストラン（支配人）	・暑い日が続いているものの消費には結び付かず、消費が上向く要因は見当たらない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・ねじれ国会による混迷の度合いの強まりが国民の防衛意識を更に高め、消費が更に落ち込むことが予想される。また、円高の動向も懸念される。
	都市型ホテル（スタッフ）	・来月に新装オープンする競合他社の影響を受けることが予想される。
	旅行代理店（従業員）	・高速道路無料化などの良い材料はあるものの、景気刺激策にはなっていないため、潤うのは一部にとどまると予想される。
	タクシー運転手	・乗客数は増えつつあり、今後もこの傾向が続くことが期待される。
	タクシー運転手	・仕事をしたくても求人がないという声が乗客から聞かれるなど、良い話を耳にすることがない。しばらくはこの状態が続くと予想される。
	通信会社（営業担当）	・景気が回復する材料が見当たらず、2～3か月先でも大幅な改善は見込めない。
	通信会社（営業担当）	・政府や自治体による景気対策が不明確で、先行きは不透明である。
	観光名所（職員）	・予約状況が前年同期比で数%落ち込む状況は続く。
	遊園地（経営者）	・景気回復のプラス要素が少なく、前年の9月の大型連休を下回ることが予想される。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・先行きに対する不安から、消費者の購買意欲は低下したまま推移する。
	一般小売店〔雑貨〕（企画担当）	・個人所得の増加が見込まれる状況ではないため、個人消費については今後も厳しい状況が続くと予想される。

	百貨店（売場担当）	・7月の勢いが継続するかは予断を許さない。7月の売行きが良く、在庫状況は厳しくなっており、秋物も売れるわけではない。担当する「大きいサイズの婦人服」の夏物の販売期間は長く、秋物の本格的な売り出しは8月末からとなる。そうしたなかで、秋物の売り出しと並行して行う夏物の最終価格でのセールが売上をどこまでカバーできるかがポイントになる。
	スーパー（経営者）	・異常な暑さによる食欲減退から食料品の売上が落ちており、この状況はしばらく続くと予想される。
	コンビニ（エリア担当）	・猛暑の影響による売上改善は一時的なものであり、現状の客単価の推移を考えると、2～3か月後は売上の落ち込みが懸念される。
	コンビニ（エリア担当）	・10月からの増税によるたばこの買い控えから、客足は鈍くなる。コンビニにおいて、たばこ客の比率は高いため、影響は大きくなると予想される。
	衣料品専門店（経営者）	・3か月予報では9月まで残暑が続く見通しで、秋物商戦への影響が懸念される。
	衣料品専門店（店長）	・先行きがわからない現状では客の財布のひもは緩まず、買い控えが続くことが予想される。
	衣料品専門店（店長）	・政治も不安材料を多く抱えており、しばらくは厳しい状況が続く。
	乗用車販売店（経営者）	・エコカー購入補助金が予定どおり9月末に終了すれば、その反動から新車販売の大幅減少が予想される。6～8月に発売する新型車に多少は期待しているものの、補助金終了後のマインド低下をカバーできるか予断を許さない。
	乗用車販売店（経営者）	・自治体のエコカー購入補助金が終了し、その反動による販売量の落ち込みが予想される。
	乗用車販売店（経営者）	・エコカー購入補助金の終了により、10月以降は、受注の大幅な落ち込みが予想される。
	乗用車販売店（従業員）	・自治体のエコカー購入補助金の終了に伴い、客の買換え需要が一段落し、今後、受注の落ち込みが懸念される。
	住関連専門店（経営者）	・現在の売上が良い分、その反動による売上の落ち込みが懸念される。
	一般レストラン（スタッフ）	・価格競争が始まることが予想される。
	観光型旅館（経営者）	・猛暑の影響で、客は山の温泉地よりも、海水浴に集中することが予想される。
	観光型旅館（スタッフ）	・団体客は引き続き少ないパイの奪い合いとなり、価格面での競争激化は必至で、収益面の負担は大きい。したがって、通期の宿泊人数はかろうじて前年比を上回るものの、総消費単価の落ち込みは今後も続くことから、総売上高は前年を下回る。
	都市型ホテル（経営者）	・個人客の売上は前年並みで推移しているが、法人関係については非常に動きが悪く、8月以降の予約率も低調で、入込は期待できない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・前半好調だった婚礼については、先日、後半に向けて大々的なブライダルフェアを開催したものの、猛暑のせいか思ったほどの集客がなく、新規受注は低迷したまま推移する。
	タクシー運転手	・客の財布のひもが固くなっている状況はしばらく続く。
	通信会社（営業担当）	・雇用環境は依然として厳しい状況が続いており、改善する要因が見当たらない。
悪くなる	一般小売店〔酒〕（経営者）	・7月は例年、商品の動きが活発になるが、今年は売行きが低迷しており、この先一層厳しさを増す。
	スーパー（経営者）	・消費者が生活防衛意識や買い控えの傾向に変化がないなかで、景気回復の要因が見当たらない。
	コンビニ（経営者）	・失業者数は依然多く、乗客数は月を追うごとに落ち込む。
	乗用車販売店（経営者）	・当初の予想を上回る駆け込み需要の反動から、エコカー購入補助金が終了する9月末以降は30～40%減と、リーマンショック直後の水準に逆戻りすることが予想される。
	乗用車販売店（経営者）	・エコカー購入補助金が9月で終了するため、それ以降は販売の大幅な落ち込みが予想される。
	乗用車販売店（経営者）	・エコカー購入補助金の終了による反動から、10月以降の需要は落ち込む。
	自動車備品販売店（経営者）	・エコカー購入補助金と減税による買換え促進により、車検や修理等の激減が3年続くことが予想され、自動車整備や補修用自動車部品の業界内での大幅な淘汰が予想される。
	競艇場（職員）	・増税論議が先行し、国民の収入増による消費拡大策が実施される見込みがないため、消費が落ち込みデフレ解消にならない。現状の政権下における政策では厳しい経営が続く。

企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	農林水産業（従業者）	・7月半ば以降の猛暑で果物が大変甘くなり、贈答用も例年並みの注文が来ていることから、売行きが期待される。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・受注量の動きからは、やや良くなることが予想されるが、利益率の低下は著しく、楽観はできない状況が続く。
		輸送業（経営者）	・前年比で売上増となっており、今後も売上の伸びが期待される。
		広告業協会（役員）	・テレビスポットや新聞折込の回復、新聞広告の下げ止まりなど、広告業界にも明るい兆しがみえている。
		広告代理店（経営者）	・他社との競争は激化しているものの、12月の新幹線延伸開業に伴い、大型観光キャンペーン関連の受注増が期待される。
	金属工業協同組合（職員）	・小ロット、超短納期の状態が続いており、協力会社を探すのが非常に難しくなっているものの、製造業は総じて、半導体関連の受注量の拡大にけん引されながら、これ以上の悪化はないと予想される。	
変わらない	食料品製造業（経営者）	・前年比を上回る流れができており、この状況が続くことが期待される。	
	食料品製造業（経営者）	・現在の経済状況からは明るい兆しがみえない。	
	食料品製造業（総務担当）	・秋の需要期に向けて、消費が盛り上がる要因は見当たらない。	
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・これといったプラス要因が見当たらない。	
	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・取引先は各社とも経費削減策を継続している。宣伝広告費も削減したままの状態が続く。	
	土石製品製造販売（従業者）	・東北の建設業界は、全体的に発注工事が減少しつつあり、ここ2～3か月の間、景気が回復する要因は見当たらない。	
	電気機械器具製造業（企画担当）	・サッカーワールドカップ終了後、特別なイベントもないため、デジタル家電の製品需要は安定期に入っており、パソコンや新型多機能情報端末、携帯電話の需要拡大に期待するものの、景気回復をカバーできない。	
	建設業（経営者）	・新築工事の受注増が期待できる要因が見当たらない。	
	建設業（従業者）	・公共投資の動きは先行き不透明である。	
	建設業（企画担当）	・工事件数は、しばらく現状のまま推移するものの、厳しい状況は続く。	
	広告代理店（経営者）	・いずれの得意先も広告費の削減を継続中で、広告出稿の増加は見込めない。	
	経営コンサルタント	・政治の混沌による、民間企業の自立的回復基調への影響が懸念される。	
	司法書士	・政府の緊急経済対策による、住宅ローンの利率軽減制度を利用した新築住宅の購入者が増えており、施策には一定の効果がみられる。ただし、住宅を購入する層は収入によって固定されており、全体の景気を押し上げるほどのけん引力にはならず、新築住宅着工は低水準で推移する。	
	公認会計士	・建設関係は、受注見込みの話聞いても前年より明るい材料がない。小売関係も売上が前年を下回る会社が多く、景気が良くなる材料が見当たらない。	
	コピーサービス業（経営者）	・政治の動き次第で変わる可能性はあるが、客にこれといった変化がみられないことから、低水準で横ばい状態が続くと予想される。	
	その他企業〔企画業〕（経営者）	・住宅エコポイントのエコリフォーム関係で動きがみられるものの、全体的に需要は低迷したままで推移する。	
	その他企業〔工場施設管理〕（従業者）	・残業規制や休日出勤の規制及び固定費削減など、相変わらず厳しい当社の状況から、景気回復はまだ先である。一部の取引先では、一時的に明るい話題も出てきているが、全般的には良くも悪くもない状況が続く。	
やや悪くなる	農林水産業（従業者）	・晴天が続くことで米の豊作が予想され、米価の下落が懸念される。	
	食料品製造業（総務担当）	・5月以降前年割れの状態が続いており、2、3か月後に好転する要因は見当たらない。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・下期は自動車部品の国内需要の大幅な減少と急激な為替の動きから、業績の悪化が懸念される。	
	通信業（営業担当）	・先行きを明るくさせる要因が見当たらず、契約更新を控えた顧客については、更に厳しい対応が予想される。	
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・客の間でも消費税の問題が取り上げられるようになっており、売上は停滞もしくは減少傾向が続くことが懸念される。	

		その他非製造業〔飲食 料品卸売業〕（経営 者）	・低価格志向は一層進むことが予想され、売上維持が困難な 状況は続く。
	悪くなる		
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・取引会社のうち、製造業関係では今後ゆるやかに良くなる という印象を持っている担当者が多く、業況の回復が期待さ れる。
		人材派遣会社（社員）	・住宅や不動産関係で、しばらく中止していた採用活動を再 開させる動きがみられ、雇用環境の改善が期待される。
		新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・自動車関連の組み立て工場の本格稼働に伴い、求人数の増 加が期待される。
		職業安定所（職員）	・製造業の生産が活発化してきているため、求人が上向いて くる。
	職業安定所（職員）	・産業によって温度差はあるが、全体的には新規求人数の前 年比増加が続いており、当面、この傾向は続くと思われ る。	
変わらない		人材派遣会社（社員）	・陸路での貨物集積にハンデがあり、港湾からの発送量も他 港に比べて低迷したままで、新たな工場や企業の誘致もな く、景気が好転する材料が全く見当たらない。
		人材派遣会社（社員）	・求人数が低迷する状況はしばらく続く。
		新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・今後の業績回復が見通せないため、多くの企業で採用意欲 はあるものの踏み切れない状況が続く。
		新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・自動車販売関連などは、これまでカンフル剤となっていた エコカー購入補助金の終了後、前年割れの状況に陥ることが 懸念される。
		職業安定所（職員）	・新規求人数は前年同月比で3か月ぶりに増加に転じたが、 月間有効求人数は依然として減少傾向が続いている。また、 ここ数か月少しずつ下降傾向が続いていた有効求人倍率は一 転上昇となっているが、今後も予断を許さない。
		職業安定所（職員）	・中小企業において新たに雇用調整を実施する動きは今後も 続く。
		職業安定所（職員）	・新規求人数は前年比5か月連続で増加しているものの、伸 び率の鈍化傾向は続く。また、有効求職者数は高止まりで推 移する。
		職業安定所（職員）	・自動販売機設置業は、不況による取引工場等の倒産及び閉 鎖や、コンビニ及びマイボトルの普及により、自動販売機の 普及台数、売上共に減少傾向は続く。飲食サービス業は、長 引く不況からくる節約志向のため来客数が減少しており、大 変厳しい状況は続く。クリーニング業は、客の節約志向や他 社との過当競争から、受注件数及び単価の減少傾向は続く。 ビル管理業は、他社との価格競争激化により適正価格が崩 れ、売上の減少傾向は続く。理美容業は、長引く不況の影響 から客の利用回数、売上共に減少傾向は続く。
	職業安定所（職員）	・新規事業の情報もなく、正社員の求人も減少している状況 であり、景気回復の兆しはみられない。さらに、9月のエコ カー購入補助金終了に伴い、自動車販売量の減少による生産 減少が懸念される。	
	職業安定所（職員）	・今月は一時的な臨時求人が多かったが、それらを除くと低 調なまま推移する。	
	やや悪くなる	アウトソーシング企業 （社員）	・当社のような川下の会社は景気対策の恩恵がなく、受注環 境は一層厳しくなる。
	悪くなる	人材派遣会社（社員）	・上半期の9月を期限とした派遣契約打ち切りが増加する。